

(概要版)

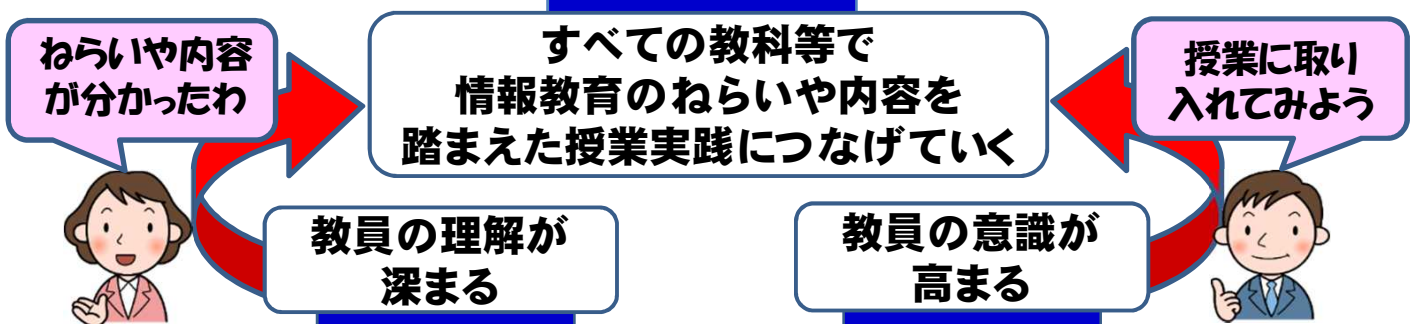
「はばたこう群馬の情報教育研修プラン集」の作成と活用 — 児童生徒の情報活用能力を高める指導の充実を目指して —

長期研修員 山本 義光

研究の概要

本研究では、児童生徒の情報活用能力を高める指導の充実を目指した校内研修を各学校で実施していくための「はばたこう群馬の情報教育研修プラン集」を作成した。また、協力校において本研修プラン集を活用し、情報教育にかかわる校内研修を実施した。それにより、本研修プラン集が、教員の情報教育にかかわる理解を深め、意識を高め、情報教育の充実につながる実践意欲をもたせることに有効であることを明らかにできた。

児童生徒の情報活用能力を高める指導の充実



「はばたこう群馬の情報教育研修プラン集」の作成と活用

進行者用資料

目的や実態に応じて内容を選べる

簡単な準備で実施できる

30分程度で行える

<特徴>

目的や実態に応じて内容を選べる

簡単な準備で実施できる

30分程度で行える

進行補助資料

情報モラル必要性を考慮

情報モラルの範囲

人権、知的財産権など他の権利を尊重する

情報を正しく安全に利用できる

情報社会で適正に活動するための基となる考え方や態度

提示資料

利用の実態①

学年	人数	時間
平成19年度	301名	301時間
平成20年度	1,898名	1,898時間
平成21年度	2,687名	2,687時間
平成22年度	2,687名	2,687時間
合計	7,573名	7,573時間

受講者用資料

実態

児童生徒の情報活用能力育成を目指す情報教育が各教科等において十分実施されていない

- 情報教育のねらいや内容を認識した学習活動が進められていない
- 各教科等における情報教育の具体的な学習活動が知られていない

はばたこう群馬の情報教育研修プラン集

すべて30分程度で行える講義型7プラン、ワークショップ型13プラン、全20プランを作成した。

各研修プランの構成

研修プラン

進行者用資料

進行補助資料

提示資料

受講者用資料

内容	目的	方法	研修プラン
教育の情報化	理解を深める (ガイダンス)	講義型	プランA1「教育の情報化とは」
		講義型	プランA2「身近に見られるICTの活用」
児童生徒の情報活用能力の育成	理解を深める	講義型	プランB1「情報教育とは」
		講義型	プランB2「情報活用能力とは」
		講義型	プランB3「情報モラル教育とは」
		ワークショップ型	プランB4-1「小学生に身に付けさせたい情報活用能力を知ろう」
		ワークショップ型	プランB4-2「中学生に身に付けさせたい情報活用能力を知ろう」
	意識を高める	ワークショップ型	プランB5-1「小学校学習指導要領における情報教育の位置付けを知ろう」
		ワークショップ型	プランB5-2「中学校学習指導要領における情報教育の位置付けを知ろう」
		ワークショップ型	プランC1「情報活用能力を生かす場面を考えよう」
		ワークショップ型	プランC2「情報モラル教育の必要性を考えよう」
		ワークショップ型	プランC3「情報モラル教育の進め方を考えよう」
		ワークショップ型	プランC4-1「小学校における情報教育の学習活動を考えよう」
		ワークショップ型	プランC4-2「中学校における情報教育の学習活動を考えよう」
		実践につなげる	ワークショップ型
ワークショップ型	プランD2「授業実践の参観と授業研究会で指導法を考えよう」		
教員のICT活用指導力の向上	理解を深める	講義型	プランE1「教員のICT活用指導力とは」
		講義型	プランE2「個人でできる研修方法で研修してみよう」
	意識を高める	ワークショップ型	プランF1「教員が知っておくべき情報モラル・セキュリティを考えよう」
		ワークショップ型	プランF2「教科指導におけるICT活用のメリットを知ろう」

研修プランの目的

情報教育への理解を深める

情報教育推進に対する意識を高める

授業での実践につなげる

作成方針

情報教育にかかわる研修を実施しやすくする

情報教育への理解と情報教育推進に対する意識向上を図る

各教科等での具体的な学習活動例の周知を進め、指導場面の創出を促す

研修実施の手順

研修の目的や学校の実態に応じた内容を選択

用意されている資料を使用して研修を実施

研修時間は30分程度

研修形態の工夫



全体会



学年部会・教科部会

研修方法の工夫



講義型



ワークショップ型
(模擬授業等)



授業実践と授業研究会

研修進行者向け資料の例

進行者用資料

はばたこう群馬の情報教育研修プラン
プランC4-2 中学校における情報教育の学習活動を考えよう

研修のポイント

- 各教科等で情報教育のどのような内容を扱えるか確認してもらう。
- 各教科等における学習活動例を知り、自らが担当する教科等でのどのような学習法を実施しているのか考える。
- 担当教科や担当学年等の教員で情報交換し、イメージをもてるようにする。

研修での主な活動

- 自分が担当する教科等で扱える情報教育の内容を考える。
- 各教科等における学習活動例を知り、自らが担当する教科等でのどのような学習法を実施しているのか考える。
- 担当教科や担当学年等の教員で情報交換し、イメージをもてるようにする。

研修の進め方

項目	分	使用する提示資料(スライド番号)	内容
今回の研修の目的	3	① 今回の研修テーマと研修内容	・ 今回の研修のねらいと内容を説明する。研修内容を確認する。
情報教育と担当教科等の関連	5	③～⑤ 扱える内容の検討	・ 担当教科等で扱える内容をチェックし、教員間で意見交換する。
各教科等における学習活動例の紹介	5	⑦～⑩ 学習活動例(各自情報教育の実施)	・ 情報教育の目標ごとに学習例を紹介していく。(配付資料を活用)
担当教科等の実践イメージづくり	15	⑪ 実践イメージの検討	・ 配付資料を参考にしながら、自らが担当する教科での学習活動例を確認し、教員間で意見交換しながら実践イメージをつくり、教員に発表してもらう。
まとめ	2	⑫ まとめ	・ 今回の研修のポイントを確認する。

準備

研修用資料
提示資料、コンピュータ、プロジェクター、スクリーン資料(各教科等における学習活動例)

研修進行者に意識して欲しい研修のポイントと実施する研修の主な活動を示した。

提示資料

中学校における情報教育の学習活動を考えよう
プランC4-2

研修の項目と時間、使用する提示資料、内容などを示した。

研修実施に必要な機器などの準備を示した。

研修進行者が、研修の流れを把握し、進行のイメージをもちやすくするための資料

研修受講者に研修内容を分かりやすく説明するための提示資料を作成した。

【ワーク】自分が担当する教科等で扱える内容をチェックしてみよう

各教科等における学習活動例

体系的な情報教育の実施

【ワーク】自分が担当する教科等における学習活動例を確認し、実践のイメージをもとう

選択と必要な情報の収集

表現を工夫した発表や発信

情報の処理の方法の工夫

コンピュータの構成と情報処理のしくみの理解

自らの情報活用の評価・改善

ネットワーク利用上の責任とルールや法律の理解

情報機器の利用と健康への影響の理解

情報社会の一員としての自覚

ICTを用いた情報の処理の方法の工夫

情報活用の改善

情報社会の一員としての自覚

教科等で扱える内容をチェックしてみましょう

同一教科の先生や同学年を担当している先生と意見交換してみましょう

進行補助資料

はばたこう群馬の情報教育研修プラン
プランC4-2 中学校における情報教育の学習活動を考えよう

NO.	スライド	説明用文
1	中学校における情報教育の学習活動を考えよう	※事前にコンピュータ、プロジェクターを用意し、配付資料(プランC4-2)を必要枚数印刷しておく。 ※研修参加になさる前から、担当教科・学年等の配付資料として、席に置いてもらう。 これから中学校における情報教育の学習活動を考える研修を行います。 授業生徒に身に付けさせたい情報活用能力を各教科等のどのような学習活動で身に付けていったらよいのか一緒に考えていきましょう。
2	本日の内容	本日の研修内容はこの通りです。 ワークシートを取り入れていきますので、その際、意気、意気を持っていただくとともに情報交換し、授業のイメージをもっていくようにご協力お願いします。 それでは、始めます。
3	身に付けさせたい情報活用能力	授業生徒に身に付けさせたい情報活用能力は、様々なものがあります。 その内容の中にどのようなものがあるか、研修がドに示してあります。 ご確認ください。
4	自分が担当する教科等で扱える内容	まず、自分が担当する教科等で扱える内容をチェックしてみましょう。 扱える内容を○で囲っていきましょう。 ※1～5分程度考えてもらいます。

使用する提示資料に合わせた説明文の例を掲載し、進行補助資料としてまとめた。

研修受講者向け資料の例

実施する研修プランのねらい、研修内容を示した。

主な研修内容を示すスライドを提示資料から選び掲載した。

研修受講者が、研修のねらいや内容を把握するための資料

受講者用資料

はばたこう群馬の情報教育研修プラン
プランC4-2 中学校における情報教育の学習活動を考えよう

研修のねらい

中学校の各教科等における情報教育の学習活動例を知り、担当する教科で扱える内容を確認する。そして、担当する教科等の実践のイメージをもち、情報教育の体系的な実施への意欲を高める。

研修内容について

【研修内容】

- 身に付けさせたい内容の例
- 【ワーク】自分が担当する教科等で扱える内容をチェックしてみよう
- 各教科等における学習活動例
- 体系的な情報教育の実施
- 【ワーク】自分が担当する教科等における学習活動例を確認し、実践のイメージをもとう

身に付けさせたい内容の例

選択と必要な情報の収集

表現を工夫した発表や発信

情報の処理の方法の工夫

コンピュータの構成と情報処理のしくみの理解

自らの情報活用の評価・改善

ネットワーク利用上の責任とルールや法律の理解

情報機器の利用と健康への影響の理解

情報社会の一員としての自覚

ICTを用いた情報の処理の方法の工夫

情報活用の改善

情報社会の一員としての自覚

自分が担当する教科等で扱える内容をチェックしてみましょう

同一教科の先生や同学年を担当している先生と意見交換してみましょう

自分が担当する教科等で扱える内容の範囲で、自分の学習法を考えてみよう

「情報教育の目標の3観点」をバランスよく育成

体系的な情報教育が実施される

各教科の目標と情報教育の目標との関係の理解

教科指導におけるICT活用のおおいた情報教育の目標との関係の理解

配付資料で自分が担当する教科等における学習活動例を確認しよう

情報教育の実践イメージを書き出してみよう

すでに決まっていること

このように自分なりの学習活動例を記入しよう

このように書き出して発表しよう

○の枠で自分の学習活動例を記入しよう

○の枠で自分の学習活動例を記入しよう

【担当教科等での実践イメージを考えてみましょう】

※資料から書き出してよいです。

※講師や学習活動、自発的な学習の経験などのイメージでもよいです。

ノート

月 日 ()

ワークショップ型の研修では、考えたことをまとめるなど、ワークシートとして活用できるようにした。

実践の様子と結果

研修プラン集を活用した協力校における実践の様子

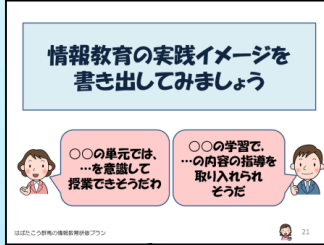
プランB3（講義型）
「情報モラル教育とは」
プランC2（ワークショップ型）
「情報モラル教育の
必要性を考えよう」
＜意見交換の様子＞



講義型の研修で情報モラル教育の内容や目標を理解し、ワークショップ型の研修で自校の生徒に必要な情報モラル教育について意見交換し、共通理解を図った。

プランC4-2（ワークショップ型）
「中学校における情報教育の
学習活動を考えよう」
＜研修で使用した提示資料の例＞

＜研修で使用した提示資料の例＞



担当教科等で扱える情報教育の内容をチェックし、各教科等における情報教育の学習活動例をもとにして、授業での実践のイメージを創り出した。

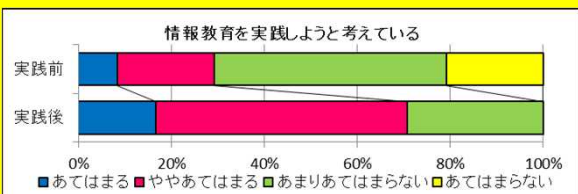
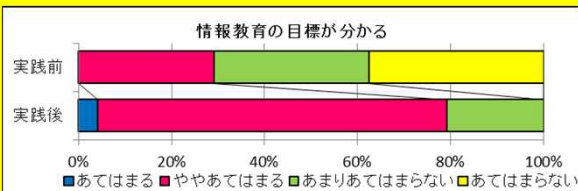
プランD2（ワークショップ型）
「授業実践の参観と授業研究会
で指導法を考えよう」
＜授業実践の様子＞



情報教育のねらいや内容を踏まえた授業実践を参観してもらい、授業研究会を通して、効果的な指導法を検討し、授業のイメージを創り上げた。

研修プラン集を活用した協力校における実践の結果

実践前後の教員へのアンケート結果の比較



実践後の教員の意見・感想

社会科のワークシートを用いた発表にも生かしていると思った。



研修した内容を今後生かしていきたいと思う。



情報教育を踏まえた学習を行える場面を考え出すことができた。



情報教育推進
に向けて

理解を
深めること

意識を
高めること

に有効である
という結果
が得られた

成果

- 本研修プラン集を活用した研修を実施したことで、情報教育にかかわる研修機会をすべての教員に提供することができ、研修を受けた教員が情報教育について理解を深めたり、意識を高めたりすることができた。
- 情報教育の授業を構想し、模擬授業を行う研修プランや授業実践の参観、授業研究会を取り入れた研修プランの実施を通して、各教員が情報教育のねらいや内容を踏まえた学習場面をイメージすることができ、実践への意欲化を図ることができた。

課題

- 各教員によって、興味・関心や疑問点が違うため、事前に情報教育についての理解や意識の違い、研修したい内容などを把握するための調査用紙や個に応じた研修を実現するための資料を一層充実させたい。
- わずかな時間を有効に活用し、研修内容を身に付けさせるには、研修内容に応じたグループ編成を行い、教員間の教え合い、学び合いを促すような工夫が重要である。

問い合わせ先

群馬県総合教育センター
担当係:教育情報推進係

0270-26-9215(直通)